

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月13日

上場会社名 株式会社 キング 上場取引所 東

コード番号 8118 URL https://www.king-group.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木原 伸一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 坪田 隆宏 TEL 03-5434-7282

半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無: 無 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	3, 771	△2. 7	320	△5. 9	413	7. 4	270	△23.7
2025年3月期中間期	3, 876	△4.8	340	△25.0	384	△21.9	355	8. 1

(注)包括利益 2026年3月期中間期

551百万円 (199.0%)

2025年3月期中間期

184百万円 (△70.5%)

	1 株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 中間純利益
	円銭	円 銭
2026年3月期中間期	16. 97	_
2025年3月期中間期	22. 22	_

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	26, 269	22, 695	86. 4
2025年3月期	25, 717	22, 475	87. 4

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 22,695百万円 2025年3月期 22,475百万円

2. 配当の状況

		年間配当金							
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合語							
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭				
2025年3月期	_	0.00	_	18. 00	18. 00				
2026年3月期	_	0. 00							
2026年3月期(予想)			1	18. 00	18. 00				

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
\Z #□	百万円	%	百万円	%	百万円	% 12 0	百万円	%	円 銭
通期	8, 560	4. 9	950	9.8	1, 070	12.0	720	Δ1.8	45. 12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更:無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 :無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	24, 771, 561株	2025年3月期	24, 771, 561株
2026年3月期中間期	8, 828, 515株	2025年3月期	8, 775, 917株
2026年3月期中間期	15, 969, 069株	2025年3月期中間期	15, 975, 433株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当日	中間決算に関する定性的情報	2
	(1)	経営成績に関する説明	2
	(2)	財政状態に関する説明	3
	(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	中国	間連結財務諸表及び主な注記	4
	(1)	中間連結貸借対照表	4
	(2)	中間連結損益及び包括利益計算書	6
	(3)	中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
	(4)	中間連結財務諸表に関する注記事項	8
		(継続企業の前提に関する注記)	8
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
		(中間連結損益及び包括利益計算書に関する注記)	9
		(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
		(ヤグメント情報等の注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年4月~9月)におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が見られましたが、物価高や円安の影響、世界経済の減速懸念から、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当アパレル・ファッション業界におきましても、物価の上昇を受けて消費者の節約志向が強まる中、猛暑の影響による季節商品の販売不振が影響し、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、お客様にご納得いただける「強いものづくり」を変わらぬ基軸とし、独自性のある高付加価値商品の徹底追求と高品質・高感度な商品づくりに注力し、「売上高の拡大」を最重要課題として、既存ショップの売上拡大施策の実施、パートナーショップの新規開発を継続、また、6月からは新たなレディスブランドである「pierre cardin (ピエール・カルダン)」の展開を開始する等の営業活動を推進すると同時に、在庫コントロールの徹底やプロパー販売強化等によって収益性改善に努めました。

また、SNSやWebサイト、LINE等を活用したお客様とのコミュニケーション強化によって店頭運営力の更なる向上を図ると共に、固定費を中心とした諸経費の削減や生産管理機能の強化にも努めてまいりました。

その結果、売上高は37億71百万円(前年同期比2.7%減少)、営業利益は3億20百万円(前年同期比5.9%減少)、経常利益は4億13百万円(前年同期比7.4%増加)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は2億70百万円(前年同期比23.7%減少)となりました。

事業セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

(アパレル事業)

独自性のある高付加価値商品の徹底追求と高品質・高感度な商品づくりに注力し、既存ショップの売上拡大施策の実施や新たなレディスブランドである「pierre cardin (ピエール・カルダン)」の展開、在庫コントロールの徹底やプロパー販売強化等によって収益性改善にも努めましたが、猛暑の影響による季節商品の販売不振とブランド再編による影響が重なり、売上高は28億76百万円(前年同期比4.4%減少)、営業損失は94百万円(前年同期は営業損失56百万円)となりました。

(テキスタイル事業)

企画提案型ビジネススタイルの更なる進化を目指して次世代人材を育成しつつ、既存主力先の深耕化と次期主力 先の開発強化および諸経費の削減に取り組むと共に、引き続き「意匠力・提案力・対応力」をベースにテキスタイ ルコンバーターとしての競争力の強化に努めてまいりました。

その結果、売上高は3億88百万円(前年同期比2.7%増加)、営業利益は25百万円(前年同期比3.9%減少)となりました。

(エステート事業)

東京・京都・大阪の各不動産の賃貸事業につきましては、引き続き所有資産の更なる有効活用に努めました結果、売上高は5億6百万円(前年同期比3.6%増加)、営業利益は3億94百万円(前年同期比5.2%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は262億69百万円となり、前連結会計年度末比5億51百万円の増加となりました。

流動資産は122億31百万円となり、前連結会計年度末比5億86百万円減少いたしました。これは主に、現金及び 預金と受取手形及び売掛金の減少によるものであります。また、固定資産は140億37百万円となり、前連結会計年 度末比11億38百万円増加いたしました。これは主に、無形固定資産並びに投資有価証券とその他の投資の増加によ るものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は35億73百万円となり、前連結会計年度末比3億31百万円の増加となりました。

流動負債の残高は17億54百万円となり、前連結会計年度末比2億15百万円増加いたしました。これは主に、未払金の増加によるものであります。また、固定負債は18億18百万円となり、前連結会計年度末比1億15百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債の増加によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は226億95百万円となり、前連結会計年度末比2億20百万円増加いたしました。これは主に、自己株式とその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は、86.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度に比べ、4億99百万円減少し、当中間連結会計期間末の残高は102億18百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、5億71百万円増加(前年同期は1億38百万円増加)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益の計上と法人税等の支払額の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、7億16百万円減少(前年同期は4億35百万円減少)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出と保険積立金の契約による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、3億55百万円減少(前年同期は2億87百万円減少)となりました。これは、自己株式の取得による支出と配当金の支払による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績予想は概ね予想通りに推移しており、現時点においては、2025年5月7日に発表いたしました業績予想の変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1)中間連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10, 718	10, 218
受取手形及び売掛金	699	598
電子記録債権	7	1
商品	1, 227	1, 237
原材料及び貯蔵品	39	41
その他	128	137
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	12, 818	12, 231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2, 238	2, 418
土地	6, 480	6, 480
建設仮勘定	10	_
その他(純額)	234	238
有形固定資産合計	8, 963	9, 137
無形固定資産	146	340
投資その他の資産		
投資有価証券	3, 100	3, 520
長期貸付金	1	1
繰延税金資産	7	3
差入保証金	468	442
その他	227	606
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	3, 790	4, 559
固定資産合計	12, 899	14, 037
資産合計	25, 717	26, 269

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	425	493
有償支給に係る負債	39	34
短期借入金	380	380
未払金	222	40
未払法人税等	109	13:
未払消費税等	22	1
賞与引当金	144	12
役員賞与引当金	15	
その他	180	16
流動負債合計	1,539	1, 75
固定負債		
繰延税金負債	464	61
長期未払金	161	15
退職給付に係る負債	78	4
資産除去債務	125	13
長期預り保証金	872	87
固定負債合計	1, 703	1,81
負債合計	3, 242	3, 57
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 346	2, 34
資本剰余金	8, 137	8, 15
利益剰余金	13, 915	13, 89
自己株式	△3, 367	$\triangle 3,42$
株主資本合計	21,031	20, 97
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,400	1,69
退職給付に係る調整累計額	42	3
その他の包括利益累計額合計	1, 443	1,72
純資産合計	22, 475	22, 69
負債純資産合計	25, 717	26, 26

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

		(単位:日ガ円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3, 876	3, 771
売上原価	1,632	1, 612
売上総利益	2, 244	2, 158
販売費及び一般管理費	*1 1,903	* 1 1,837
営業利益	340	320
営業外収益		
受取利息	2	20
受取配当金	37	71
仕入割引	3	3
貸倒引当金戻入額	1	0
その他	1	0
営業外収益合計	45	95
営業外費用		
支払利息	1	2
その他	0	0
営業外費用合計	1	3
経常利益	384	413
特別損失		
固定資産除却損	9	3
特別損失合計	9	3
税金等調整前中間純利益	374	409
法人税、住民税及び事業税	40	109
法人税等調整額	$\triangle 20$	28
法人税等合計	19	138
中間純利益	355	270
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益	355	270
非支配株主に帰属する中間純利益	_	_
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△160	289
退職給付に係る調整額	$\triangle 9$	$\triangle 9$
その他の包括利益合計	△170	280
中間包括利益	184	551
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	184	551
非支配株主に係る中間包括利益	_	_

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	374	409
減価償却費	198	208
その他の償却額	1	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 1$	$\triangle 0$
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△38	$\triangle 23$
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	$\triangle 9$	$\triangle 6$
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△15	$\triangle 49$
受取利息及び受取配当金	△39	△91
支払利息	1	2
固定資産除却損	9	3
売上債権の増減額(△は増加)	164	107
棚卸資産の増減額(△は増加)	△118	△11
仕入債務の増減額(△は減少)	△55	65
その他	△135	△47
小計	338	569
利息及び配当金の受取額	38	90
利息の支払額	$\triangle 1$	$\triangle 2$
法人税等の支払額	△237	△85
営業活動によるキャッシュ・フロー	138	571
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	$\triangle 234$	△125
無形固定資産の取得による支出	△19	△231
投資有価証券の取得による支出	$\triangle 201$	$\triangle 2$
貸付金の回収による収入	0	0
差入保証金の差入による支出	$\triangle 12$	$\triangle 0$
差入保証金の回収による収入	28	23
保険積立金の積立による支出	_	△380
その他	3	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△435	△716
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	$\triangle 67$
配当金の支払額	△287	△287
財務活動によるキャッシュ・フロー	△287	△355
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△585	<u></u> △499
現金及び現金同等物の期首残高	10,800	10,718
現金及び現金同等物の中間期末残高	*1 10, 215	* 1 10, 218

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年5月7日 取締役会	普通株式	287	18	2024年3月31日	2024年6月7日	利益剰余金

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動 該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円) 基準日		効力発生日	配当の原資
2025年5月7日 取締役会	普通株式	287	18	2025年3月31日	2025年6月9日	利益剰余金

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動 該当事項はありません。

(中間連結損益及び包括利益計算書に関する注記)

%1 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は、以下のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		
販売促進費	354百万円	359百万円		
給与手当	475 <i>"</i>	451 "		
賞与引当金繰入額	123 "	120 "		
役員賞与引当金繰入額	9 11	8 "		
退職給付費用	3 "	3 "		
減価償却費	160 "	159 "		

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、以下のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
現金及び預金	10,215百万円	10,218百万円	
現金及び現金同等物	10,215百万円	10,218百万円	

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	中間連結損益及
	アパレル事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計	(注) 1	び包括利益計算 書(注) 2
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3, 009	378	488	3, 876	_	3, 876
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	7	15	_	23	$\triangle 23$	_
計	3, 017	393	488	3, 899	△23	3, 876
セグメント利益又は損失 (△)	△56	26	375	346	△5	340

- (注) 1. セグメント利益又は損失 (\triangle) の調整額 \triangle 5百万円には、セグメント間取引消去 \triangle 1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 \triangle 3百万円が含まれております。
 - なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 - 2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額	中間連結損益及
	アパレル事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	<u></u>	神雀碩 (注) 1	び包括利益計算 書(注)2
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,876	388	506	3, 771	_	3, 771
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	6	7	_	14	△14	_
計	2, 883	396	506	3, 785	△14	3, 771
セグメント利益又は損失 (△)	△94	25	394	325	△4	320

- (注) 1. セグメント利益又は損失 (\triangle) の調整額 \triangle 4百万円には、セグメント間取引消去 \triangle 0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 \triangle 4百万円が含まれております。
 - なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 - 2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。